

ブラジルの抽象画

助川太郎 guitar, 口琴

芳垣安洋 percussion, 口琴

with 小美濃悠太 contrabass

2019 04月20日(土)

開場 19:30
開演 20:00~

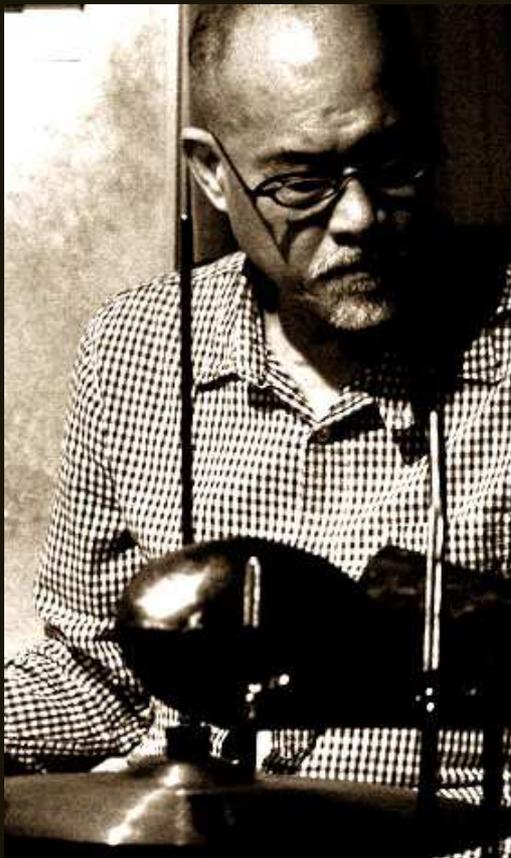
(2ステージ入替なし 途中入場可) (1drink=600円~)

MC 3500 円 + 2drinks order

CAFE BEULMANS

03-3484-0047
info.cafebeulmans@gmail.com
東京都世田谷区成城6-16-5-2F

メールでのご予約の場合、
必ず当日ご連絡がとれる電話番号を
ご記載ください。



芳垣安洋

打楽器奏者、作編曲家。ジャンルを飛び越えてビートとメロディーを紡ぐ打楽器奏者。兵庫県出身。'90年代、Altered States、モダン・チョキチョキズ、渋さ知らズ、Ground Zero、ROVO、DCPRGなどのジャズ~アヴァン・ポップを牽引したバンドのメンバーとして活動。大友良英、内橋和久、スガダイロー、山下洋輔、坂田明、菊地成孔、柳原陽一郎、おおはた雄一、UA、ROLLY、カルメン・マキ、ホッピー神山、レナード衛藤、ヤドランカ、ビル・ラズウェル、ジョン・ゾーンなど様々なミュージシャンと共演。大編成ジャズグループ「オルケスタ・リブレ」打楽器アンサンブル「オルケスタ・ナッジ! ナッジ!」ピアノトリオ「オン・ザ・マウンテン」など多様なグループを主宰。海外公演も多数。「リズム&ドラムマガジン」にコラムを連載中。文学座などの舞台演劇、「Co.山田うん」などのコンテンポラリー・ダンス、映画、TVドラマ、アニメーションなどの音楽制作にも数多く携わる他、大友良英が音楽監督を務める2019年NHK大河ドラマ「いだてん」の音楽制作に深く関わる。

<http://y-yoshigaki.com/index.html>

助川太郎

南米大陸を包括するブラジル音楽とフォルクローレを自らのものとしてオリジナル作品をクリエイトするギタリスト。大学時代はクラシックギターに専念しコンクール入賞。その後、奨学金を得てアメリカのパーカー音楽大学に留学。卒業後はジャズギタリストとしてニューヨークで活動中に世界水準のブラジル音楽に出会い、転向を決意。帰国後、自己のユニット「メロコラソン」での10年に渡るブラジル音楽の追求は6枚のアルバムに結実し、本邦最高峰のブラジル音楽ユニットという評価を得た。2013年よりソロギター活動をスタート。ジャンルに囚われない選曲と楽器の限界を突破する斬新な奏法、エフェクターや民族楽器の音響を駆使したソロパフォーマンスは日本全国で開催され、ギタリストとしての枠を超えた壮大なスケールの世界観で数多くの支持者を獲得している。

小美濃悠太

1985年、東京生まれ。一橋大学社会学研究科修了。幼少の頃より続けていたエレクトーンを通じてジャズに出会う。高校に入学後、ジャズを演奏できる楽器を習得するために吹奏楽部に入部。コントラバスとエレクトリックベースを平行して学ぶ。大学進学後、千葉大学モダンジャズ研究会に入部。本格的にジャズを学び始める。在学中から演奏活動を開始し、現在は東京を中心に首都圏全域で活動している。ジャズのフィールドにとどまらず、ポップスやミュージカルなど、幅広い分野で活躍している。ジャズベースを山下弘治氏、アルコ奏法を高西康夫氏、斎藤輝彦氏に師事。